

伝統遊具づくり **すごろく**

すごろくは、インドから中国へ渡り、奈良時代以前に日本に伝わってきたといわれています。すごろくが日本で大流行したのは江戸時代からで、その頃のすごろくの内容は、世間のできごとや気のきいた話を盛り込んだ、週刊誌のような役割をされており、主に大人の遊びだったようです。

現在のようにすごろくが子供の遊びとなったのは、明治時代頃からです。

材料：厚紙

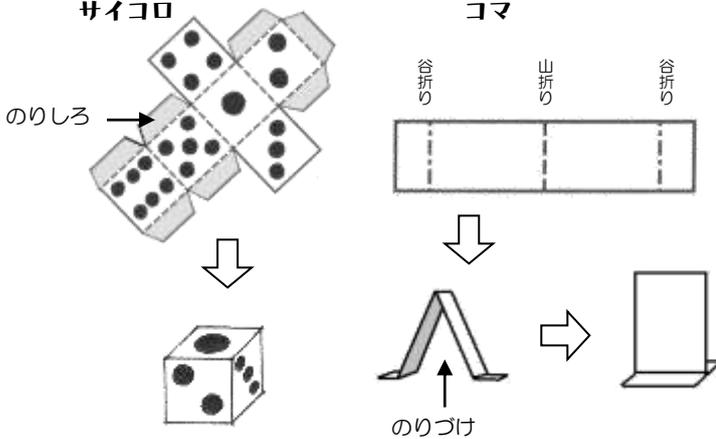
道具：はさみ・ボンド・定規・サインペン

《作り方》

1. 厚紙に、サイコロとコマの展開図を描き、切り取って組み立てる。

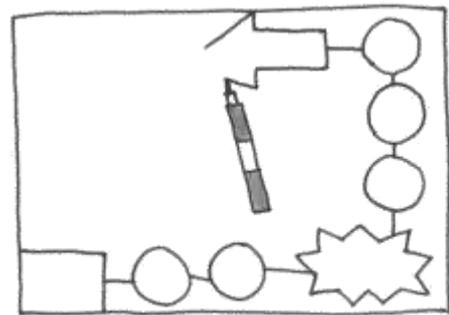
サイコロ

コマ



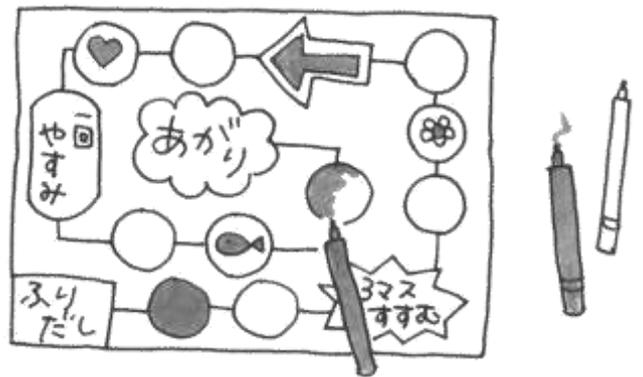
2. 厚紙に「ふりだし」から「あがり」までのマス目を描いていく。

マス目の大きさや形を変えるなどの工夫をしてみよう。



3. マス目に絵や文字などを描きこんでいく。

4. サインペンで色を塗って完成。



《遊び方》

サイコロの出た目の数だけコマを進めていこう。誰が最初にあがるかな？
コマに自分や友達の顔などを描くと楽しいよ！

